

# うきは市手話奉仕員養成講座 受講生募集！



市内在住・在勤の高校生以上の人で、入門編を終了された人か同等の技術をお持ちの人を対象として手話奉仕員養成講座（基礎講座）を開催します。

聴覚障害者への理解促進、彼らの社会参加推進を目標としています。皆さまのご参加をお待ちしています。

## ◇日時

5月15日（金）～11月13日（金）までの毎週金曜日  
19：30～21：00（初日と終了日は19：00から）

## ◇場所

総合福祉センター（うきは警察署西側）

## ◇受講料

無料 ※テキストをお持ちでない人は  
開講式でテキスト代3,240円を徴収します。

## ◇申込締切

5月8日（金）まで

## ●申込み・問合せ

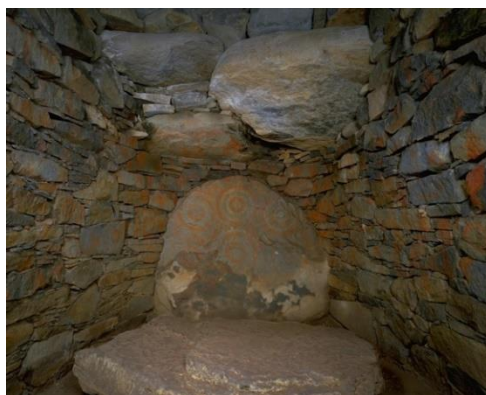
福祉事務所 福祉係 Tel75-4961



# 来月から『<sup>みのうふどき</sup>耳納風土記』の連載を始めます



皆さんは、うきは市に残されている文化財をどのくらい知っていますか？実はうきは市には多種多様で魅力的な文化財がたくさんあるんです。文化財という言葉には、「人間の文化的・生活的活動によって生み出され、残されているもの」という意味があります。簡単に言うと、「何千年も昔のものから数百年前のものまで、今まで受け継がれてきたもの全て」を指しています。皆さんの身近に残るいろんなモノも実は文化財かもしれません。こうして地域に残されてきた文化財を調査・研究したり、後世に受け継ぐために守る仕事をしているのが、私たち文化財保護係です。



▲国指定史跡 日岡古墳奥壁（吉井町若宮）

そこで今年度から、うきは市に残る文化財の魅力を、まずは市民の皆さんに知ってもらうために、毎月15日号の『広報うきは』で『耳納風土記』と題して、文化財のさまざまなお話を連載させていただくことにしました。古い時代から新しい時代まで、時にまじめに、時におもしろく、皆さんに親しみやすくお話していきたいと思います。どうぞお付き合いください。

## 【国指定重要文化財平川家住宅修理のお知らせ】

昨年の台風17号で茅葺き屋根等に被害を受けた、国指定重要文化財平川家住宅の保存修理工事を現在行っています。平川家住宅は江戸末期に建てられた豪農の茅葺き民家で現在もご当主によって大切に保存されています。6月にはきれいになった茅葺き屋根がお目見えします。

●問合せ 生涯学習課 文化財保護係 Tel75-3343